

“ 温 も り ”

“新年明けましておめでとうございます”

今年、平成30年(西暦2018年)は、戊戌(つちのえ いぬ)の年です。古来からの意味は、全ての物が土の中に還っていくような状態、と言われます。「戌(いぬ)」自体には作物を刃物で刈り取り、ひとまとめに締めくくるといような意味合いがあります。何かしら大きなことが起こることが予想されます。草木が再生するために地に還るように、不要なものは切り捨てることで新たなチャンスが得られます。つまり2018年の戊戌(つちのえ いぬ)という干支が意味するものは、大いなる繁栄を意味する十干の「戌」と、滅亡を意味する十二支の「戌」が、「比和」という関係によってその威力を最大限に強めつつ、でもどちらに転ぶかは不安定な境界線上にあるということになる、という意味があるそうです。

さて、ふる里の今年の言葉“温もり”は、当初は、こんな考えで指針としました。これまで皆さんと一緒にふる里での生活を楽しんでいること、皆さんのふる里に対する期待が大きいこと、ふる里の職員を信じていただいていること、ふる里での生活を一緒に造って下さったことなどが、ここまでふる里を発展させていただきました。有難うございます。今年の三月でふる里は開設19年目を迎えます。開設当初から“笑顔”いっぱい職員に恵まれて営むことができました。“温もり”は、摩擦によって熱を感じます。この暖かさが“温もり”で、“温もり”は、笑顔を通して人と人が会話し、互いの手を合わせて親しみを感じ合い、一緒に歌い、一緒に生活することで生まれます。これからも、利用者の皆様方を始め、家族の皆様方、ふる里に関わる皆様と共に成長してまいります。

昨年4月は、A型の事業『高齢者自立支援センターふる里』が市の認可を受け開設しました。素敵な職員集団が、“ハッ”とするような運動や脳のトレーニングの課題を考え提供しています。センター内での体力向上や知識獲得の成果を地域社会に出て活用するなど、実際生活に寄り添った実践活動が展開されています。A型の事業全体で“笑顔”を基本にしていることが利用者の皆様方の成長発達につながっています。どんなに高齢になっても成長発達がないと生きる喜びを感じることができません。今年も大村市の福祉保健計画の在り方を発展させることを目指し、ふる里がその一助を担うつもりです。毎日を皆さんと“笑顔”の生活で、ふる里を造って参りましょう。戊戌(つちのえ いぬ)の年、ふる里に関わる方々にはきっと“良いこと”が訪れるでしょう。今年もよろしくお祈りいたします。

今年も佐賀の『中原政道様』が創られた鶴と亀がついた凧を昨年引き続き飾ることが出来ました。中原さんの凧は、観る人に感動と喜び、生甲斐を願っておられると感じたからです。中原さんの凧からの息吹で、生きる力を味わいましょう。



中原政道様のしめ縄飾り

From センター長 森 隆敏

12月行事



ふる里の一年を締めくくる年末恒例行事『もちつき忘年会』を12月26日(火)・27日(水)・28日(木)の三日間行いました。石臼と杵を使ってする昔ながらの餅つきは、職員と利用者の方々だけでなく、手伝いに来て頂いた地域の方も一緒に餅をつくため、皆さんが楽しみにされており、とても盛り上がる大切な行事です。一生懸命の迫力ある姿に周りの方も昔を思い出しつつ「がんばって!!」や「ヨイショ!」と掛け声を出されるなど、とても力強く、賑やかな餅つきでした。



つきあがったお餅は次の工程の餅丸めへ。利用者の皆さんの出番ですが、昔とった『杵づか』、皆さん手慣れたもの。上手に丸められていました。中には、「どうしたらいいの?」と尋ねられたり、協力しながら取り組まれている姿も見られました。新年に飾る鏡餅もちろん利用者さんに作って頂きました。鏡餅作りは、すごく緊張されながらもとても上手に丸められ、ふる里の“飾り餅”として立派に出来上がりました。



餅の種類は、白餅・芋餅・よもぎ餅の3種類。おやつの中には、芋餅を皆さんおいしそうに食べられ、「つきたてで美味しかあ♡」、「もっと食べたかばい!」ととても好評で笑顔が溢れる楽しい時間となりました。



おやつ「芋餅」



昼食は、年末恒例の“鍋料理”。忘年会ですからいつもとは違った豪華な雰囲気皆さん「ワクワク」されていたようです。中央の鍋を囲み、ごはん、小鉢、フルーツなど美味しそうな料理が並びました。ガラナジュースを持ち、利用者さんによる「乾杯」のご発声で忘年会の始まり～はじまり～。かんぱーい!!

一日目の鍋料理は『塩鍋』。あっさりとした味付けでしたが、まろやかなコクがあり、アツアツの鍋を皆さん喜ばれていました。
二日目は『とんこつ醤油鍋』。豚肉がたあーくさん入っており、ボリュームたっぷり美味しくておかわりして食べられていました。
三日目は『すき焼き鍋』。とても豪華な具だくさんの鍋。ちょうど良い甘さが牛肉との相性バッチリ。贅沢な気分になる鍋でした。
どの鍋にもうどん麺やラーメン麺のシメがあり、途中で変わる食感も楽しまれ、飽きることなく皆さん完食されていました。三日間とも「すごく美味しい!」、「お腹のパンクするばい!」などと喜ばれ、皆さんの笑顔が心まで温まる時間となりました。



いつもこんな美味しい昼食を作ってくださっている厨房職員さん達。4名のスタッフで日々、頑張っておられます。餅つきの時は、あれやこれやと大忙し!!。そんな中でもすべて手作りで美味しい料理を提供してくださっています。今回は、お菓子作りの忙しい最中に写真を撮らせていただきました。これからもお願いいたします。



～お客様やボランティアの方々～

毎年、この餅つきには、たくさんのお客様やボランティアの方たちがお手伝いに来て頂いております。その方たちのおかげもあって、とても賑やかで楽しい行事になっています。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

餅つき以外の行事の際にも、いつでも遊びに来て頂き、賑やかで楽しい行事が出来ればと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



ボランティアの
西田さん



押し花教室の
中村壽美子先生



元職員の
末永くん



職員・小田さんの
娘さんとお孫さん



書道教室の
中村朱実先生

今年は、利用者の方もノリノリ。餅つきを大いに盛り上げようと自ら手作りで衣装や小道具を持参され、「餅つき盛り上げ隊」として、元気な掛け声やコミカルな踊りや動きで周りの利用者さんを笑わせて頂き、大いに盛り上がった行事となりました。



職員からの唄のプレゼント

さて、今回は職員からの皆さんへのプレゼントとして『ふる里聖歌隊』による合唱・コーラスを披露しました。休憩時間など空いた時間を利用し、一生懸命練習した心に響く曲やお正月の童謡などを唄い、知っている曲では利用者の皆さんも一緒に歌って盛り上がり、私達職員もとても嬉しい気持ちになりました。合唱が終わると拍手が響きわたり「良かったー!」ととても喜んで頂いた表情に感謝の気持ちでいっぱいになりました。



ふる里聖歌隊

From 行事担当 小川 晃子 原 始来

～お年賀の干し柿づくり～

ふる里では、年始の『お年賀』に頂く干し柿を利用者の方によっていただいています。今年もたくさんの方にご協力を頂いて、とてもおいしい「干し柿」が出来ました。

本当にありがとうございました。また、今年の年末にもお願いたします。



～利用者さんによる「干し柿づくり」の様子～

居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。

24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



1月の行事予定

◆ふる里1月行事『ふる里 新年会!』
4日(木)・5日(金)・6日(土)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 9日(火)・25日(木)

◆書道教室 ～中村朱実先生～ 11日(木)・22日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 19日(金) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 23日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～ … 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(10・17・24・31日実施予定)

◆妙宣寺保育園訪問 17日(水)

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



明けましておめでとうございます。

さて、去年は酉(とり)のように羽ばたき色んなものを吸収しましたが、今年はその糧に聴覚が優れていると言われる戌(いぬ)のように、皆様の声に聞き耳を立てて自分自身を成長させ、自分にできるオンラインなものを皆様に提供できればと思います。戌(いぬ)だけに…。笑。今年もよろしくお願いたします。 編集後記 三岳 健吾

ふる里の鏡餅